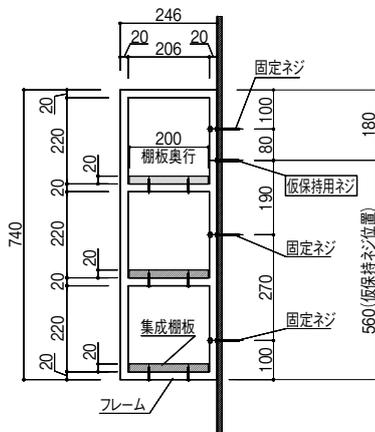
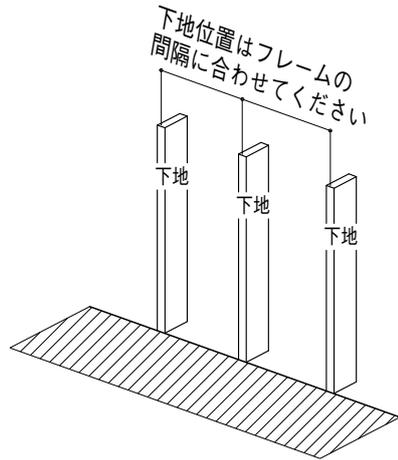


Canity Square Frame スクエアフレーム

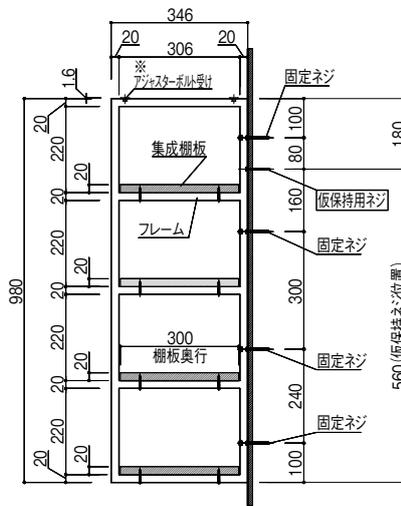
納まり図

■フロート施工の場合

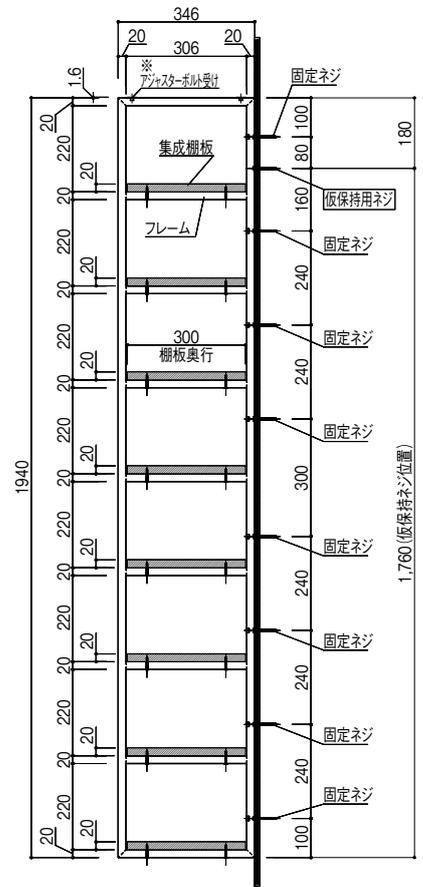
下地は床下地から天井下地まで通して設定し、建物の構造体に確実に固定してください。
 下地の材料は反り、湾曲、抜け節等のない物を使用してください。
 横方向に下地を設置する場合は固定ネジの位置に合わせてください。
 (下地の目安:30mm×90mm程度)
 ※:4段タイプ,8段タイプをフロート施工する場合、アジャスター部品は使用しません。
 フレームの上下を反転し、アジャスターボルト受けが上になるように施工してください。



3段タイプ、フロート施工の場合



4段タイプ、フロート施工の場合



8段タイプ、フロート施工の場合

Canity Square Frame スクエアフレーム

プランニングのポイント

納まり図

■床荷重施工の場合

下地は床下地から天井下地まで通して設定し、建物の構造体に確実に固定してください。

下地の材料は反り、湾曲、抜け節等のない物を使用してください。

横方向に下地を設置する場合は固定ネジの位置に合わせてください。

(下地の目安：30mm×90mm程度)

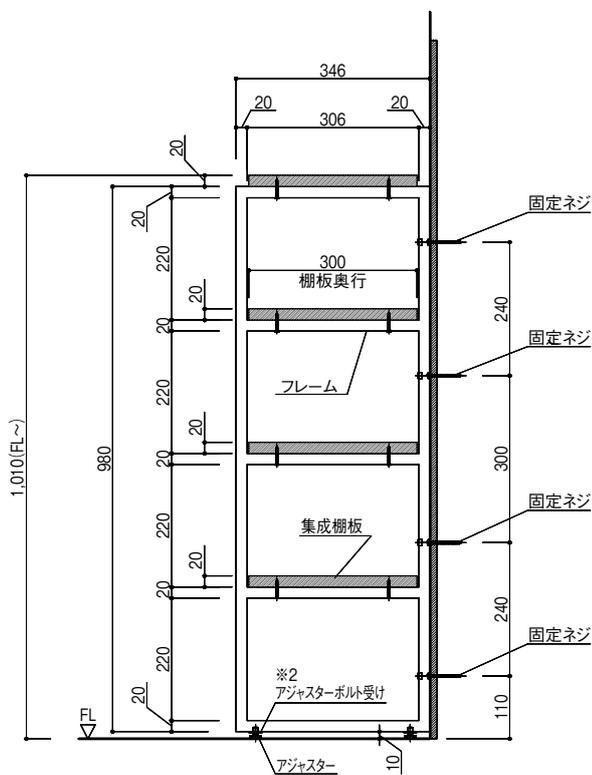
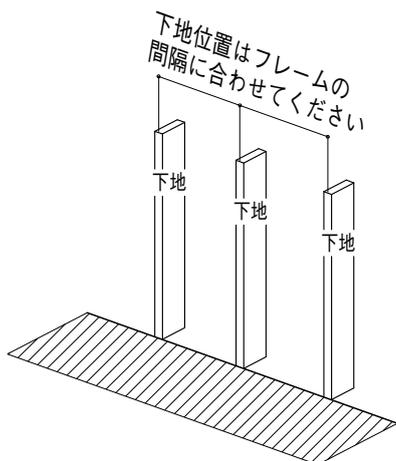
床上施工でも、下地に確実に固定してください。据え置きにすると転倒のおそれがあります。

※2：4段タイプ、8段タイプを床施工する場合、アジャスター部品を使用します。

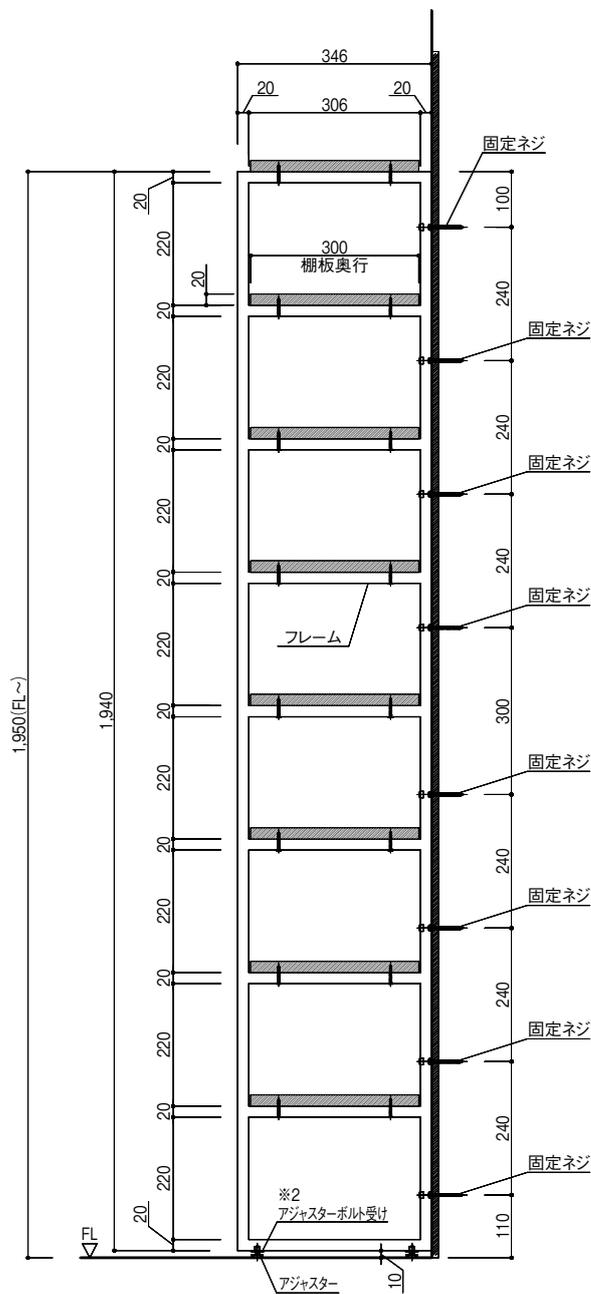
フレーム端部のアジャスターボルト受けが下になるように施工してください。

床面の不陸に応じ、アジャスターを適宜調整してください。

床荷重施工の場合は仮保持ネジは使用しません。



4段タイプ、床荷重施工の場合



8段タイプ、床荷重施工の場合